

真高寺だより

第8号

平成19年8月1日発行

*発行責任者 佐久間常壽

*編集責任者 根本 貞夫



山門保存修理工事委員会正式解散、 工事残金は特別基金として積立

山門修復工事事業の収支精算業務が全て完了し、工事残金の8,133千円は里見郵便局で、800万円と13万3千円の二口の定期預金にして積み立て、将来の山門補修費等の護寺修繕費用に充当することといたしました。

また、総代役員と協力員によって結成いたしました「山門保存修理工事委員会」は、その使命を終えたことを確認し、6月19日午後7時から真高寺檀信徒会館で解散式を行い、正式に解散いたしました。この間、協力員として終始ご尽力下さいました9名の皆様、{松本隆允さん、木村喜一さん、平野達己さん、仲村信義さん、大沼久さん（ご逝去）、桐木健治さん、小幡修一さん、河邊龍雄さん、四倉民夫さん}にはあらためて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

寄進者一覧

檀家の皆さんや寺院関係者の皆さんから、沢山のご寄進・ご寄贈をいただき、誠にありがとうございました。今までに紹介したのもございますが、ここにあらためて山門修復工事と晋山結制に関わる寄進された物件と寄進者のご芳名をご紹介します。(順不同)

檀家関係者

御五色慢幕(一幕)

花沢 博様



立焼香机(一机)

花沢 博様



中央香台(一台)

花沢 博様・根本良子様



黒御影浄財箱(四箱)

佐久間作衛様



僧形文殊像(一体)

仲村てい様



十六羅漢尊像(十六体)

小澤平治様



座褥(一枚)

四倉弥一様



六曲一双屏風(二枚)

松本靖彦様



木板用製材木(一枚) 四倉弥一様

(木板は法要時等の鳴り物として使うものです。現在は木板に加工するために、頂戴した製材木を乾燥中です。)

蠟燭台(一対)

花沢
基様



香炉台(一対)

水村
石材様



山門前敷石(一式)

松本
金蔵様・花沢
基様



六地藏石像(六体)

花沢
基様・花澤
俊之様



山桃、桂、泰山木、枝垂桜、桜の苗木

根本
貞夫・良子
様



山法師

小澤
平治様



山つつじ
蠟梅・連翹

松本
金蔵様
大沼
克己様



草花

加藤
美枝様・木
村祐久子
様



寺院等関係者

しょうけん ほふたい ひたい え 福厳寺住職 新美昌 導師
正絹羽二重緋大衣(一衣)

香炉(一個) 大泉寺住職 森田文英 師

改良衣(一衣) 東禅寺住職 伊藤博陽 師

しゃくじょうぼう 拄杖棒(一本) 金光寺住職 林哲徳 師

香炉(一個) 金光寺住職 林哲英 師

香炉・香合(二個) 大雲寺住職 小野通元 師

さんぼう 三宝・勿(二個) 天南寺住職 富士原大岳 師

ほっす 弘子(一個) 同歩会 念珠(一個) 榊丸東

山内あれこれ

ご冥福をお祈りいたします



総代役員の篠田眞一郎様が、今年3月27日にご逝去されました。享年79歳でした。長年に渡り万田野からの総代役員として、真高寺の山門修復工事など護寺発展のためにご尽力くださいました。

戒名は「こうとくいんしんざんおんしょうぜんこじい高德院真山穩照禅居士位」様です。



協力員の大沼久様が、今年2月4日にご逝去されました。享年82歳でした。教員退職後は地元発展のため、また真高寺の山門修復工事のために、柿木台地区の代表としてご尽力くださいました。

戒名は「めいとくいんきやうがくわきやうこじい明德院久岳和教居士位」様です。

33級から47級に

お寺の格付けが10年毎に見直されます。お寺の土地や財産、そして檀家数や寺の収益などの状況を曹洞宗の宗務庁へ申告することになっています。従来は第16教区中（南総・加茂地域17カ寺）で、寺格は33級でした。しかし昨年秋に行われた級階査定の結果、今年から47級となることが決定されました。これは第16教区の中でも上の方の位置付けだそうです。



今年も参道にきれいな花が



昨年に引き続き、今年も金巻いちさん、木村久子さん、そして加藤美枝さんと森祐子さんがお寺への参道脇や駐車場の周囲に、百日草や鳳仙花そして紫陽花などお花を植えて下さいました。お寺を少しでも綺麗にしようという心の籠ったご奉仕に感謝しきりです。本当にありがとうございます。

土手の草刈に感謝

真高寺に一番近い田を木村靖さんが耕作されています。数年前より猪の被害が拡大し、昨年の一部を休耕してしまいました。今年再度耕作を始めましたが、田の周辺の真高寺の土手も含めて草刈をして下さいました。真高寺も敷地の草刈はしていますが、中々全てに手が回りません。本当に助かります。

本堂に熱気、特派布教事業開催される

平成19年度の第16教区特派布教事業が6月19日(火)午後1時から4時の日程で、真高寺に於いて開催されました。当日の講師は秋田県能代市の梅林寺（秋田33観音霊場の第29番礼所住職）の木村高寛老師で、会場の本堂には16教区内から182名の聴講者が来られました。また真高寺檀家36名も説法を聞きました。当日の演題は「人権学習」ということで、人権問題が身の周りに多くあることに「気付く」ことが大事である。「差別する側の問題である」ことを知ることが大切である。家庭の中、社会の中に「人間らしくを養い、仏様の御ところを広げて行きたいと念じます」とのお話がありました。